

結果報告 ①

2210115 斐川一畑大社線道路災害復旧工事(3災684号)



けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面のパトロールを行いました。それに加えて、コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の勢力が衰えないので、感染症防止対策をどのように実施されているのか確認も行いました。

この現場は、法面工を主とした災害復旧工事です。現場は2年前に起きた集中豪雨による影響で、法面保護されている法面よりさらに高い位置から土砂崩れが発生し、道路及びガードレールが破壊されていました。そのため全面通行止めを行い災害復旧工事が進められています。

常に落石の危険がある環境下において、直高にして約50mの位置で作業を行わなければなりません。二次災害が起きる危険もあるなかで、無事故・無災害を継続して法面工を完遂しておられます。【工事進捗率:93.1%】

工事概要の説明



現場事務所は掃除が行き届いており、清潔に保たれているため快適な空間に感じました。感染症対策もバッチリです。

現場事務所には水道がなく、水の確保が難しい中で、水回りをとてもキレイにしておられました。現場事務所にはウォーターサーバーが置かれています。



地元の方へ日頃の感謝を込めて、お祭りの開催に合わせて贈り物をされました。お礼にいただいた覚書が事務所に飾ってありました。とても素敵です！

【検討事項】

誰が見ても分かるように担架の設置場所を明示して下さい。現場にも設置されているといいと思います。



【指摘事項】

事務所出入口にある吸い殻入れは、受動喫煙防止のため、出入口から離れた場所へ設置をお願いします。吸い殻の処分もお願いします。



【検討事項】

小便器側トイレに扉がありませんでした。女性は不快に感じますので今後は目隠しの設置を検討して下さい。

車輪付担架



【指摘事項】

倉庫内の資材が乱雑に置いてありましたので整理整頓をお願いします。資材置場に囲いと明示をお願いします。倉庫裏の単管等は資材置場へ移動をお願いします。





〈現場および現場周辺の様子〉



崩壊箇所の法枠工を施工するにあたり、セーフティクライマー工法を採用し、脆弱な土砂や浮石、草木などを除去されていました。バックホウをワイヤーと立木で支えるため安全率を多く見積もった引張試験を行い、強度を確認しておられました。掘削した土砂等は下に落としていきますが、土砂以外の大きな岩や倒木等が下に落ちないように、設計にはない仮フェンスを設けて安全に作業を行っておられました。法枠施工では資材等をモノレールで運搬し、ポンプ圧送空気併用方式でモルタル吹付を行っておられました。

ほとんど施工が終わっていたため、写真を見ながら施工方法の説明をしていただきました。



モルタルを圧送する際に、配管距離が長く勾配がきついため、柔らかいモルタルを圧送して吹付直前に急硬材を混ぜて所定の強度を保つよう工夫されていました。



資材運搬はモノレールで行っており、使用上の注意看板が設置されていました。他に昇降階段も設置されていました。



架空線は防護管を取り付けて養生し、注意喚起看板を設置しておられました。また全面通行止めにするために立入禁止バリケードを二段階に設置し、安全対策をされています。資材置場は整理整頓されており、飛散防止ネットが設置されていました。法面作業計画書も見やすいところに掲示されています。

**【指摘事項】**  
トイレ出入口にある吸い殻入れは、受動喫煙防止のため、離れた場所へ設置をお願いします。

**【検討事項】**  
トイレが資材置場のなかにありました。利用しやすいように資材置場の外への設置を検討して下さい。

天気がいいので現場から海がとてもきれいに見えました。透る青色に癒されました。

今後は気温も暖かくなりますが、その一方で1日の寒暖差が激しい時期です。体調管理にも十分に気をつけていただき、無事に竣工されることを心から願っています。皆様ありがとうございました。ご安全に！！